



## 今年度、島根大学医学部に入学した学生からメッセージが届きました！



島根大学医学部1年  
岡崎 智哉 さん

島根大学に入学して早4カ月、ようやくこちらでの生活にも慣れ、物心ついた時からの夢であった医師となるために日々体力づくりや勉学に励み、充実した生活を送っています。

私は元々現在の医療問題の一つである医師の偏在問題に関心を持ち、同じ問題を抱えている地元で働きたいと思っていました。一度益田を離れて改めてふるさと益田のすばらしさに気づき、温かい益田の皆様に見守られながら、益田の皆様のためにもふるさとの医療に一日でも早く貢献したいという思いを噛みしめています。

そのためにも6年間この大学で勉学に励み、地域医療に携われるよう、様々な人との出会いを大切にしながら日々精進し、夢に向かって努力していきたいと思います。

私が医師になろうと思った理由は、益田市で医師として働いてきた父を見て育ち、その姿に憧れて、父のような地域医療に従事する医師になりたいと思ったからです。大学生になり、生物の授業や、医師として働く上で大切な倫理観を高める授業など、直接医療に関係する授業が増え、医師になるモチベーションもさらに高まりました。そして、地域医療に関する講演や授業を聴く機会も増え、考えることも多くなりました。さらに、島根県内の病院での研修などもあり、実際に体験する機会も増えていきます。そういった講演や研修を通して、地域医療の課題などについては入学前よりもさらに詳しくわかりました。授業、講演、研修などの体験の一つひとつ糧にして、立派な医師になれるよう日々精進します。



島根大学医学部1年  
酒井 虎之助 さん

私が医師を志したきっかけの1つに、匹見や隠岐の診療所で医療に携わっていた祖父の存在があります。往診するためにバイクや船舶の免許を取得し、昼夜を問わず地元の方々の健康や体調維持のために過ごした日々を聞き、私も医師としての人生を考えるようになりました。

入学してからは地域医療学の講座やセミナーへの参加を通して、益田や島根の地域医療について深く知り、将来についてより具体的に考えるようになりました。現在は、分子生物学や医学英語、心理学など、基礎医学を中心に学んでいます。将来に活かせるよう励んでいこうと思います。

益田を離れて初めて、温かい人々に恵まれた益田の良さに改めて気づかされました。世界の医療に貢献した秦佐八郎博士にゆかりのある益田で生まれ育ったことに誇りを持ち、日々学び続けていきたいと思っています。



島根大学医学部1年  
角 友博 さん

## まめネットでつながろう！まめネットカードをお持ちですか？

### ○まめネットカードとは…

『まめネットカード』をお持ちの県民の皆様のカルテ情報を、県内の様々な医療機関で共有するネットワークです。カルテ情報を共有することで、検査や投薬の重複を避け、精神的・身体的な負担を軽減することができます。また、意識不明で救急搬送された場合でも病院で情報を確認することができるので、迅速に適切な処置を受けることができます。

### ○このような方におすすめです

- ・複数の医療機関にかかっている方
- ・アレルギーを持っている方
- ・乳幼児、高齢者



【問い合わせ先】  
NPO 法人しまね医療情報  
ネットワーク協会  
☎ (0853) 22-8058